禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B62

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
１級 とび 学科試験問題
(とび作業)

1. 試験時間　１時間 40 分
2. 問題数　　50 題(A 群 25 題、B 群 25 題)
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はＡ群(真偽法)とＢ群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ.　A 群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ.　B 群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ.　答案用紙の解答欄は、A 群の問題と B 群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はＡ群は 50 題まで、Ｂ群は 25 題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　労働安全衛生法関係法令によれば、勾配が15°を超える架設通路には、踏さんその他の滑止めを設けることと規定されている。

2　養生朝顔のはね出し長さは、足場の外側から水平距離で1.5m以上とする。

3　安全ネットは、たるみが生じないように張る。

4　ウェルポイント工法は、隣接地盤には地盤沈下等の影響を与えない。

5　割栗地業における割栗石の敷き込み幅は、基礎フーチングの幅よりも大きくする。

6　鉄骨の建方の一つであるリフトアップ工法とは、床や屋根の鉄骨を地上で組み立てた後、それをジャッキ等で上昇させて、本柱に定着させる工法をいう。

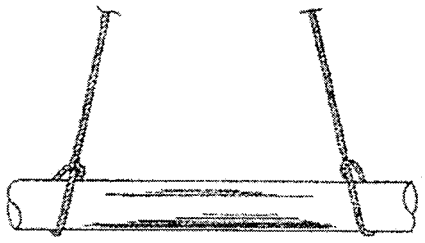
7　コンクリート工事において、コンクリートの打込み時に型枠にかかる側圧は、コンクリートの打込み速度の影響を受けない。

8　ころを使用して物体を旋回させるには、物体の前後のころを同時に反対方向に切るようにするのがよい。

9　曳き家工事における下受工法(下腰工法)は、土台の下に鋼材を入れ、その鋼材で建築物の荷重を受けて移動する工法で、主に、木造住宅の移動に用いられる。

10　玉掛け作業で多く使用されるワイヤロープは、一般に、普通よりの6×24－A種である。

11　下図の玉掛け方法は、あやかけである。



12　ボルシンは、鉄骨建方において、接合する部材同士のボルト穴がずれているときに、その穴を合わせるのに用いる工具である。

13　ウインチの溝なしドラムにワイヤロープが巻き込まれる場合、フリートアングル(中心線からの角度)の値は、4°以内にしなければならない。

14　クレーンのつり上げ能力は、ジブの傾斜角度により変化する。

［A群（真偽法）］

15　施工図は、設計図を基に工事の施工に必要な詳細を表した図面である。

16　力の三要素とは、一般に、力の大きさ、力の方向(向き)及び力の伝わる速さをいう。

17　ターンバックルは、木造建築物のゆがみ直しにも使用できる。

18　労働安全衛生法関係法令によれば、鋼管足場の壁つなぎ用金具の最大使用長は、1800mm以下と規定されている。

19　鉄骨工事において、ガセットプレートとは、鉄骨柱の底部に取り付ける底板のことをいう。

20　コンクリート工事におけるワーカビリティーとは、コンクリートの打込み作業のしやすさを表す。

21　仮設建設物の上屋とは、一般に、建築施工現場等において、雨等から建物や機械等を保護するために設けられる仮設の屋根のことである。

22　ラーメン構造とは、柱とはりからなる剛な骨組で、これに自重、積載荷重、地震力などの荷重を負担させる構造である。

23　建築基準法関係法令によれば、間仕切壁は、建築物の主要構造部に含まれる。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、高さ又は深さが1.5mを超える箇所で作業を行うときは、原則として、当該作業に従事する労働者が安全に昇降するための設備等を設けなければならないと規定されている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、労働者の危険を防止する措置が講じられていなければ、高さ3m以上の高所から物体を投下してはならないと規定されている。

［B群（多肢択一法）］

1　単管足場に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　建地の脚部には、ベース金具を使用する。

ロ　地上第一の布の高さは、2.4m以下とする。

ハ　建地の間隔は、けた行方向1.85m以下、はり間方向1.5m以下とする。

ニ　布の継手部は、千鳥となるように配置する。

2　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、つり足場の作業床は、幅を(①)とし、かつ、すき間が(②)することと規定されている。

	①	②
イ	30cm以上	3cm以下となるように
ロ	40cm以上	3cm以下となるように
ハ	30cm以上	ないように
ニ	40cm以上	ないように

3　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、土止め(土留め)支保工を設けたときは、その後(　　)日をこえない期間ごとに、部材の損傷、変形、腐食、変位及び脱落の有無及び状態等について、点検を行わなければならないと規定されている。

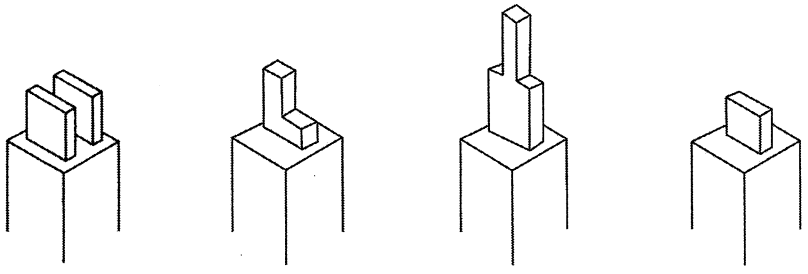
イ　7

ロ　8

ハ　9

ニ　10

4　木造軸組工法の仕口の形状とその名称の組合せとして、適切でないものはどれか。



ありほぞ　イ　　小根ほぞ　ロ　　重ねほぞ　ハ　　平ほぞ　ニ

5　クレーンによる荷の運搬作業に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　つり荷の重量目測では、原則として、少なめに重量を見積もる。

ロ　つり上げた荷を水平移動させる場合、原則として、床上1mの高さを保つ。

ハ　荷をつったままでも、運転者は運転位置を離れてもよい。

ニ　つり荷の上には、人を乗せてはならない。

［B群（多肢択一法）］

6　普通コンクリートを使用した無筋コンクリート5m³の質量として、適切なものはどれか。

イ　約7.5トン
ロ　約9.0トン
ハ　約10.0トン
ニ　約11.5トン

7　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

鉄筋コンクリート構造物の解体工法である(　　)は、機械に付いている刃などで部材を挟み、油圧による圧縮力によって、コンクリートを破壊する工法である。

イ　ワイヤソー工法
ロ　圧砕工法
ハ　ブレーカー工法
ニ　静的破砕工法

8　つり荷を2本つりで玉掛けしたとき、つり角度と1本のロープにかかる張力の組合せとして、適切でないものはどれか。

＜つり角度＞　　＜張力＞

イ　30°・・・つり荷重の半分の1.04倍
ロ　60°・・・つり荷重の半分の1.16倍
ハ　90°・・・つり荷重の半分の1.75倍
ニ　120°・・・つり荷重の半分の2.00倍

9　手袋を使用してはならない作業はどれか。

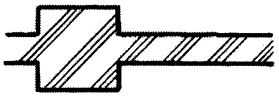
イ　丸のこ盤の操作
ロ　トランシットの操作
ハ　パイプサポートの整理
ニ　水平つなぎの取外し

10　次の建設機械のうち、整地作業に適さないものはどれか。

イ　モータグレーダ
ロ　クラムシェル
ハ　トラクターショベル
ニ　ブルドーザ

［B群（多肢択一法）］

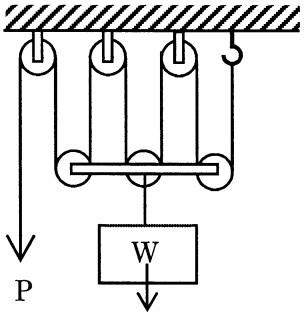
11　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、下図の材料構造表示記号が表すものはどれか。



イ　割栗
ロ　コンクリート及び鉄筋コンクリート
ハ　軽量壁一般
ニ　普通ブロック壁

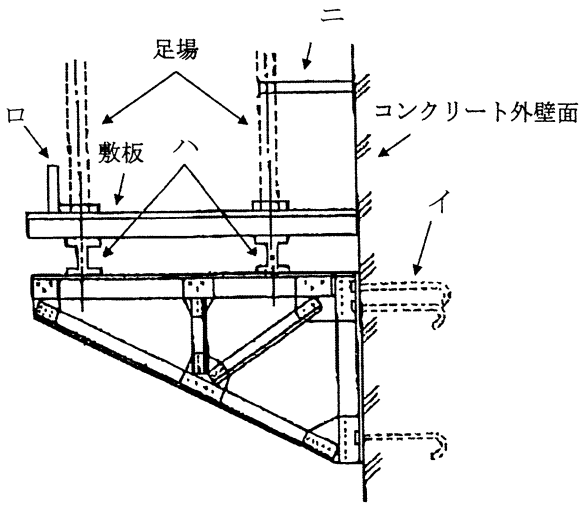
12　下図のように定滑車及び動滑車を使用して物体をつり上げる場合、ロープを引く力Pは、物体の重量Wに対してどのくらいの力になるか。ただし、滑車、ロープ等の質量及び摩擦は考えないものとする。

イ　1／2の力
ロ　1／4の力
ハ　1／6の力
ニ　1／8の力



13　下図の張出し足場における部材イ～ニの名称として、適切でないものはどれか。

イ　アンカーボルト
ロ　幅木
ハ　根太
ニ　壁つなぎ用金具



14　土止め(土留め)支保工の親杭への横矢板の取付けに必要ないものはどれか。

イ　くさび
ロ　台座
ハ　桟木
ニ　裏込め材

［B群（多肢択一法）］

15　針葉樹材はどれか。
　イ　ナラ
　ロ　キリ
　ハ　スギ
　ニ　ブナ

16　木質系の集成材に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　数枚の板を接着剤により張り合わせるので、合板とも呼ばれている。
　ロ　ひき板・小角材などを接着剤により集成して作られた建築材料である。
　ハ　構造用、造作用などの種類がある。
　ニ　わん曲材を作ることができる。

17　工期の短縮及び型枠の解体・搬出の手間を省くために捨て型枠があるが、一般に、地中ばりに使用されないものはどれか。
　イ　スレート型枠
　ロ　ラス型枠
　ハ　パネル型枠
　ニ　ブロック型枠

18　移動式足場(ローリングタワー)に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　作業床の周囲に高さ90cm以上で中桟付きの丈夫な手すりを取り付ける。
　ロ　作業床の周囲に高さ5cm以上の幅木を取り付ける。
　ハ　作業員を乗せて移動してはならない。
　ニ　脚輪のブレーキは、移動中を除き、常に作動させておく。

19　建築物の特徴に関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　鉄骨造は、鉄骨の柱及びはりを被覆しなくても耐火構造である。
　ロ　鉄筋コンクリート造では、鉄骨造よりも大スパンの部屋を作りやすい。
　ハ　プレハブ造の部材は、規格化され、工場で生産される。
　ニ　鉄筋コンクリート製部材は、プレハブ造に使用することはできない。

20　鉄骨造の略称として、適切なものはどれか。
　イ　RC造
　ロ　SRC造
　ハ　S造
　ニ　CB造

［B群（多肢択一法）］

21　建築基準法関係法令における不燃材料に含まれないものはどれか。

イ　石
ロ　ガラス
ハ　コンクリート
ニ　厚さ9.5mmのせっこうボード

22　廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)関係法令における廃棄物に含まれないものはどれか。

イ　汚泥
ロ　廃油
ハ　放射性物質
ニ　粗大ごみ

23　労働安全衛生法関係法令によれば、特別教育を受けた者であれば行うことができる業務はどれか。

イ　つり上げ荷重が1トン以上の移動式クレーンの運転(道路上を走行させる運転を除く。)の業務
ロ　可燃性ガス及び酸素を用いて行う金属の溶接、溶断又は加熱の業務
ハ　つり上げ荷重が1トン以上の移動式クレーンの玉掛けの業務
ニ　最大荷重が1トン未満のフォークリフトの運転(道路上を走行させる運転を除く。)の業務

24　保護帽に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　足場の解体作業中は、必ず着用する。
ロ　保護帽内の換気用に穴を空けるなどの改造加工をしてもよい。
ハ　着用にあたっては、あごひもを確実に締める。
ニ　衝撃吸収ライナーに著しい傷や割れがないものを使用する。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、作業主任者を選任すべき作業でないものはどれか。

イ　掘削面の高さが2mとなる地山の掘削作業
ロ　高さが2mの構造の足場の解体作業
ハ　高さが5mの鉄骨造建築物の組立作業
ニ　高さが5mのコンクリート造の工作物の解体作業